

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 複製ストレス制御機構が引き起こす生命現象の総合的理解
2. 研究代表者： 村井 純子（愛媛大学 先端研究・学術推進機構 プロテオサイエンスセンター 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題では、複製ストレス制御因子に注目し、複製ストレスによって引き起こされる、がん化、老化、抗がん剤の効果や副作用などの生命現象を解明し、治療に繋げることを目指している。フェーズ1では、複製ストレス制御因子である SLFN11 の作用機構からがん治療への応用に向けた研究まで、計画通り良好に進捗している。フェーズ2では、引き続き SLFN11 の作用機序の解明が計画されており、臨床への応用を見据えた応用研究に繋がることを期待する。

以上